

PRO

状態変化時にアラームでお知らせ

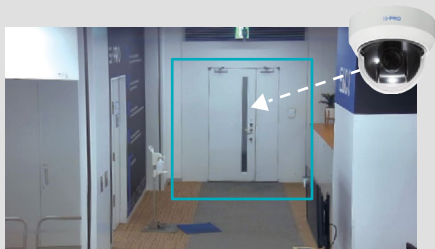
AI状態変化検知アプリケーション

WV-XAE400W

カメラごとに基準状態を学習させ 状態変化時にアラーム通知するAIアプリケーション

運用前

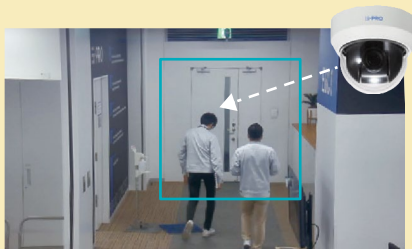
基準状態を**学習**させる



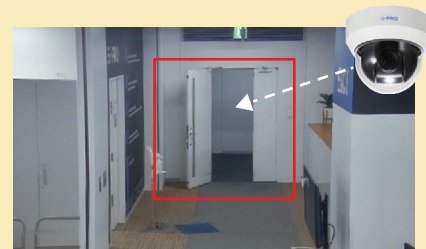
【扉閉鎖時】を **基準状態** として学習

運用中

基準状態から**変化を検知**した場合に**アラーム**



扉の状態は変わっていないので **基準状態**
(人物検出を有効化することも可能)



【扉開放時】 **基準状態** ではない!

活用いただけるシーン



金融機関

開扉・閉扉状態の検知

金庫や書庫の扉の締め忘れや開放状態を防止したい



小売店

欠品状態の検知

陳列棚の欠品状況をキャッチして商品を補充したい



美術館・博物館

貴重品の持ち去り検知

展示品の紛失をすぐ認識し、捜索の手配をしたい



駐車禁止エリア

迷惑駐車検知

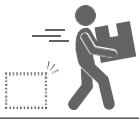
駐車禁止場所に車が停められた場合に警告したい

その他推奨シーン 安全確保エリアへの違法放置、色や物量・水位の変化、危険物の放置、扉の開放、共用部の無断長期駐車、忘れもの検知など

詳細は裏面に記載の問い合わせ窓口までお気軽にお問い合わせください

展示物の持ち去り検知、商品棚の欠品検知、扉の開放検知、車の停車検知など 変化を検知して素早い対応が必要となる様々なシーンで活用可能

検知例 1



物品の
持ち去り検知

元の状態を「基準」と判断



状態が変化



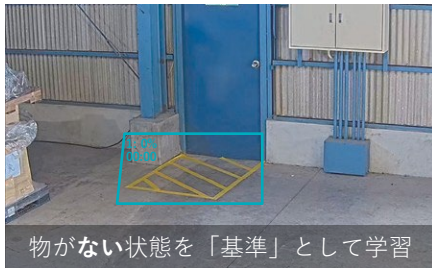
状態変化を検知しアラーム通知



検知例 2



避難通路への
置き去り検知



目的に応じて学習モデルを定義可能

AI状態変化検知
アプリケーション

詳細は
こちらから！



POINT ① 通行人など、一時的な人の映り込みを検知から除外する設定が可能

POINT ② アラームは「状態変化後に通知」ではなく「基準状態になったら通知」とすることも可能

POINT ③ 設定・学習時はi-PRO設定ツールのガイダンスに沿って作業することで、迷いや誤操作を防止

システム構成 (WV-XAE400W)

i-PRO 設定ツール (iCT)



設定ツールを使って学習実施、学習モデル保存、状態変化検知・アラーム通知

AIプロセッサ搭載カメラ※1



カメラからの学習用画像収集・選択、カメラへの学習指示、カメラアプリの設定・動作確認

※1 i-PRO製AI機能対応ネットワークカメラ
※2 本アプリ使用時はmicroSDメモリーカードもしくはSDメモリーカード（機種による）が必要です

映像監視システム

- 1 カメラが状態変化を検知
- 2 モニター画面にアラーム状態が通知
- 3 ライブ画像・記録画像を確認し素早い処置



お問い合わせはこちら



株式会社セキュリティデザイン

<https://www.security-d.com/>